

教 員 名	ふかわ ひさし 布川 日佐史
専門分野	公的扶助・生活困窮者支援、雇用政策
ゼミのテーマ	貧困と生活保護について考える
ゼミの内容	このゼミでは、貧困状態の人への支援と生活保護をテーマに、尊厳のある生活保障と自立支援について学びます。ゼミ生それぞれが自分の関心に沿って、支援の現場から学ぶのがこのゼミの特徴です。生活保護・生活困窮者支援に関連する行政機関、支援団体、当事者の皆さんの協力をいただき、各自が自分の課題をみつけます。 私自身は、生活保護を利用しやすくするという課題と、貧困からの脱却及び貧困予防のための援助サービスの制度づくりについて考えてきました。健康で文化的な生活とは、自立支援とは、社会参加とは、権利保障とは・・・、そもそも生活保護を受けている人をどういうまなざしで見るの、などなど、みんなに考えてもらいたいことがたくさんあります。みんなが自分で選んだテーマと、こちらとしてみんなに考えてもらいたい課題とのすり合わせがうまくできるかどうか、肝心なところです。お互い遠慮せず、意見交換できるように頑張りましょう。 2年生では、まず映像や副教材から生活困窮の実態と生活保護制度について知ってもらいます。論点を整理し、参考文献をしっかりと読んで、大事なところをちゃんと抑えてもらいます。支援者の声、当事者の声を聞き、意見交換する場を持ちます。夏休みには、各自、支援の現場を訪問し、何が課題になっているかを考えてもらいます。 3年生になったら、自分のテーマを決めて、現場のヒアリングと文献研究を進め、4年生の卒業論文の土台を作ります。 4年生ではオリジナリティと思いの溢れた卒業論文を書き上げます。 ゼミ合宿をします。 2013 年 仙台・仮設住宅訪問 2014 年 大阪・西成・ホームレス支援と地域再生フィールドスタディ 2015 年 沖縄・子どもの貧困と支援現場の訪問 2016 年 ソウル・若者支援の現場訪問と交流 2017 年 福島・帰還困難区域と復興の取組の訪問、 (2018 年は在外研究でゼミはありませんでした。) BBQ や「懇親」の場をもちます。 OB・OG に、自治体の福祉職採用などについて相談にのってもらえます。 これらゼミの行事については、ゼミ生に任せます。
次年度選考会 選抜方法	レポートにもとづく面接 1. A4用紙に、 ①自己紹介と、②貧困と生活保護の現状や役割に対する意見、③自分が研究したいと思っていることを、まとめてください。 2. それにもとづいて面接をします。